

A-106 台所用洗剤のリン含有量について
文教大女短大 ○野崎恵子 岩村泰子
東京学芸大 元山 正

目的 湖沼等の富栄養化の原因としてリンがあげられており、洗剤中のリンが家庭排水に流れこむことが問題となっている。食品衛生の立場から、食器類の洗浄に洗剤を使用することが望まれるので、食器用洗剤中のリンの含量を測定した。また参考として衣料用洗剤についても測定を行った。

方法 市販の台所用洗剤45種を購入し、JIS K 3362 合成洗剤試験方法中全リン酸塩の定量に従い測定し、 P_2O_5 の%で示した。すなわち、硝酸で酸化し、これにモリブドバナジン酸塩溶液を加えて生成した黄色錯塩の吸光度を測定した。

結果 台所用洗剤はLASおよび高級アルコール系(陰イオン)を含むものが最も多く単にLASと表示されているものを含め21検体であった。そのうち1例1%近くのものがあるが他は0~0.2%の範囲で、0.02~0.03%のものが多い。他の組成のものもほとんど0~0.02%のものが多く、台所用洗剤はリンの汚染源としては考えられないことがわかった。一方衣料用洗剤は洗浄力を増加させる目的でリンが含有されており、表示もなされている。測定結果は表示量とほぼ同じであるが、2~17%とその含量に大差のあることがわかった。